

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉社会福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 17,591人(前年度比 135.6%) 令和3年度 12,977人 令和2年度 12,610人 《事業》 社会福祉を目的とする団体等に対して会議や研修等の活動の場を提供するとともに、各種講座の開設や福祉情報の提供及びボランティアの育成等を通して市民の福祉に対する理解・参加を促進し、地域福祉の増進に資する事業を実施する。	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 30,226千円 (32,290千円) ・ その他市が負担した費用 6,694千円 (40千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 109千円 (72千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート・主催講座参加者アンケート・利用報告書のご意見欄・各フロア設置の意見箱等を通して改善に取り組み、その結果を館内の掲示板に公開している。また登録団体等による運営委員会を設置し、運営の改善につなげている。また常に受付窓口等で利用者の声に耳を傾け、早急に対応している。	

## 二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>施設の設置目的に基づいた管理運営上の「基本方針」が確立されており、職員も理解している。また、「基本方針」を館内の掲示板に掲示し、利用者にも周知している。</p> <p>そのほか、短時間でも学べる手話教室や、親子で参加できる講座、一部講座の夜間開催を通じて、幅広い年代の利用者の増加を図るなど、施設の設置目的を達成できており、評価できる。</p>	39/39
II 施設の運営管理体制	<p>指定管理業務協定書及び仕様書、その他関係法令を遵守し、適切な施設運営がなされている。個人情報の保護に対する体制については、研修等を行う他、退庁時に書庫の施錠やクリアデスク等を徹底しており、評価できる。また、併設の障害者福祉センターや近隣施設を含めた地域一体での防災訓練等の取り組みにより、利用者の防災意識の向上を図っている点も評価できる。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>築30年を超える建物であるが、利用者の立場で建物の小規模修繕の必要性などを考え、適確に設備の維持管理を実施している。その他、植栽外構などの環境整備についても適切に行われており、評価できる。また、利用者や入居団体等の理解と協力を得ながら、仙台市環境行動計画に則した取り組みを積極的に行っている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>併設施設である障害者福祉センター、社会福祉協議会泉区事務所等の窓口案内にも対応している。また、利用者等へアンケートを実施した結果抽出された課題については、利用団体の代表者等で構成される運営委員会で改善点等をまとめ、利用者へ公表するなど積極的なサービス向上に努めており、評価できる。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>施設運営の基本方針を定めた事業計画に基づき目標を定め、企画立案が行われている。また、地域住民や利用者のニーズに応じた各種講座の開催により、地域住民との良好な関係を継続して構築するとともに、地域福祉の拠点としての機能も果たしており、評価できる。さらに、近隣にある福祉施設とも定期的に連絡会を開催する等連携を密にしており、また、地域要望に基づくボランティアマッチング等の取り組みも進められている点が評価できる。</p>	10/10

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>①地域福祉の拠点としての活動。 貸館事業について、コロナ感染拡大防止対策を継続し、換気、消毒、距離の確保等、三密の回避を実施した。貸室以外の場所にも常時消毒可能なように消毒液を設置した。利用団体にも、使用前後の消毒に協力いただいた結果、施設利用後の感染者の報告はなかった。利用者数は前年比135.6%の増であった。</p> <p>②地域住民の福祉意識の高揚と増進。 地域福祉活動の担い手育成として、例年実施している点字・手話講座の他、地区社協、地区民児協、地域包括、当センター登録団体等へ参加を呼びかけ、新たに地域福祉活動団体交流会を開催した。相互の活動紹介や連絡先等を情報交換し、連携した活動が出来るよう支援した。</p> <p>③地域福祉団体との連携。 周辺福祉施設の連絡会議である、ぬくもりの里連絡会議において、合同清掃の実施や緊急時の連絡体制を確認した。また、障害者団体、単位町内会、地区民児協、登録団体に参加頂き、センター運営委員会を開催した。施設運営への意見、要望について協議し、利用者ニーズに寄り添った事業展開に努めた。</p> <p>④災害対策の推進。 泉障害者福祉センター、本会泉区事務所、隣接の泉ひまわりの家を含めた防火管理委員会を開催し、年2回の防災訓練を行った。また、災害時の福祉避難所開設に備え、大規模災害備品・備蓄品の確認を行いながら福祉避難所開設訓練を行った。</p> <p>⑤福祉団体の育成支援と地域福祉ネットワークの強化。 地域福祉活動への参加意向を示したセンター登録団体の冊子を更新した。冊子は地域福祉活動団体交流会の際、センター登録団体や区内の地域包括支援センター、障害者相談支援事業所等へ社会資源の情報として配布し、ネットワークの構築に資するように活かした。また、地区社協活動者を対象に、「地域の集いの場等で活かせるレクリエーション」をテーマに講座を開催し、地域住民が実践できる内容を伝え活動支援した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染拡大防止対策を行いながら事業を継続しているほか、地域福祉団体との連携を深め、より広いネットワークの構築に取り組んでいる。</p> <p>また、点字・手話講座等の修了者を対象としたフォローアップにも力を入れており、地域福祉の担い手確保のための継続的・積極的な取り組みが評価できる。</p> <p>ほかにも、併設施設である泉障害者福祉センターや仙台市社会福祉協議会泉区事務所のほか、隣接する「泉ふれあいの家」、「泉ひまわりの家」、及び周辺の福祉施設等との連携を主導する形で、地域と一体となった施設運営を行っており、高く評価できる。</p> <p>さらに、利用登録団体の地域福祉活動への参加意向をまとめた冊子を活用し、団体との交流会を開催するなど、利用登録団体の社会資源としての活用や、さらなるネットワークの構築を視野に入れた取組みを行っている点も評価できる。</p> <p>加えて、令和5年度に実施する施設大規模改修の影響で、令和4年度末に施設休館となったが、早い段階から施設運営委員会や利用者への説明を丁寧に行ったことで、利用者の大きな混乱もなく施設休館を迎えることができた点も評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>令和4年度に新たに地域福祉活動実践者向けの地域福祉講座と地域福祉活動団体交流会を開催したことで、地区社協等から利用登録団体への地域でのイベント協力依頼が令和4年12月末の時点で3件あり、地域と施設利用者が連携した新たな活動に繋がった。</p>

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局地域福祉部社会課